

## 5年ぶりに会津駒ヶ岳へ（個人山行）

（報告）TI

◎期日：7月15日～16日

◎メンバー：TI、夫

5年ぶりに会津駒ヶ岳に行ってきました。4月の予約受付開始と同時に入れた予約は、日にちが近づくにつれお天気が怪しくなり、ダメもとで小屋に電話を入れると『キャンセル出ました』と神の声。1日予定をずらして出発となりました。

道の駅桧枝岐で車中泊して目を覚ますと外は雨。天気予報では昼近くまでは降る予報との事。滝沢登山口まで移動し久しぶりにレインを着ての登山開始となりました。山頂直下までは樹林帯の中を歩く登山道ですが、時々眺望が開け良い気分転換となりました。中間地点付近の水場はこんな天気のせいか人影はなく後から来た親子連れも休憩を取らず行ってしまいました。5年前は水場までは結構急な坂を下った記憶がありましたが、その後修復されたのか水場手前まで楽々と上り下りすることができました。今夜泊る小屋には水場がない為ここで水を補給し再スタートです。マイツルソウやコゼンタチバナ、イワカガミ、ギンリョウソウなどたくさんの花についつい足が止まってしまいますが、のんびり登る私達には疲れることなく良かったです。

山頂近くになると雨もやみ始め湿原が広がり、ワタスゲやイワイチョウ、コバイケイソウが現れまたまた足が止まってしまいました。今回はチングルマの花も見ることができ、小屋までの最後の木段を登りきるとハクサンコザクラが出迎えてくれました。前回と同様、コースタイムの倍近くかかってしまいました。無事に小屋に着くことができました。



昼食をとった後、サブリュックに替え山頂に。今年はハクサンコザクラの当たり年らしくたくさん見ることができました。シャクナゲのトンネルを抜けると会津駒ケ岳の山頂です。この頃になると薄日も差ってきて燧ヶ岳なども見ることができました。中門岳への稜線は気持ち良さそうでしたが、今回は分岐までとし小屋に戻ることに。

夕食を取りながら小屋番さんご夫婦、常連さん、同室になった方達と消灯時間まで色々なお話をすることができ楽しく過ごすことができました。コロナ禍で宿泊定員を減らしていたのこんな天気でキャンセルもあったようで、この日の泊り客は10人程でゆったりと過ごすことができました。



翌日はご来光を楽しみに早起きしましたが、残念ながら雲に邪魔されて見ることはできませんでした。しかし昨日とは打って変わってお天気は良く青空も見え、予定通り大津岐峠からキリンテに下ることに。最初の急坂とザレた場所を通過すれば、あと多少のアップダウンはあれど楽しい稜線歩きです。ホシガラスや鶯の鳴き声を聞きながら、昨日とは全く違う花の種類に一喜一憂しながら歩きました。



大津岐峠からは樹林帯の下りで少し飽きてしまい、キリンテの道標を見つけた時は思わずバンザイしてしまいました。予定より早く下山してしまったためバスの時間まで時間があいてしまい、次のバス停のミニ尾瀬まで歩き売店で冷たいジュースを飲みホッと一息入れました。会津駒ヶ岳登山口でバスを降り、主人を入口のトイレの所に残し私は滝沢登山口まで車の回収に向かいました。途中から近道の山道に入りましたが、重いザックが背中がないせいか思ったより楽に登ることができ、予定の半分の時間で戻ってくることができ、今夜の宿泊地の七入りキャンプ場に向かいました。

会津駒ヶ岳は小屋で一緒になった常連さんも言っていましたが、何度でも行きたくなる山の一つです。機会があれば、次は湿原一面が草紅葉で真っ赤になる秋に登ってみたいと思います。